

WEBサイトによる音楽家のプロモーション

Self-Updating Website for Musicians

AD33 ドウマンジュ ファビエンヌ萌
指導教員 西野 隆司

1. 研究目的

音楽家の多くは演奏活動等に忙しく、自らの宣伝方法が限られている。

音楽家が演奏活動以外でのプロモーション方法を必要としている状況を知り、プロモーションに有効な媒体であるwebサイトに注目した。今回の研究ではwebサイトを使用した音楽家向けの宣伝方法を探る。

2. 調査と分析

音楽家から見たwebサイトに期待する点と、作成・更新における不便な点を調査した。

■期待される点

- ・今までコンサート等に足を運ばなかった人にも情報を伝えることができる。
- ・自分のwebサイトがあると紹介しやすい。
- ・試聴で音楽を聴いてもらえる。
- ・依頼が増える。

■作成・更新における不便な点

- ・ある程度webの知識がないと取りかかれない。
- ・わからないから時間がかかり億劫になる。
- ・優先順位が低くなりがち。
- ・更新を続けにくい。

3. コンセプトの立案

「簡単に作成・更新できるwebサイト」

調査の結果からwebサイトの作成に時間がかかる、更新を続けにくいという点に着目した。

そこで簡単に作成でき、更新を続けられるwebサイトを提案する。

4. デザイン展開

webサイトは更新頻度が高い程注目度が上がる傾向にある。更新を続け、更に更新頻度を上げる為には作業時間の短縮と操作の簡略化が必要だと感じた。

今までのhtmlを打ち込んで作成する方法では多くの初心者には難しく感じられてしまう。また、テンプレートを使ってもコンテンツが多く、入力する時間が長くなってしまう。

そこで、全体的にはテンプレートの方法を用いる

がコンテンツを少なくする事によって入力する量を減らす事にした。ProfileやMailは最初に作成すれば後々頻繁に更新しなくてもよいので、特に更新する必要のあるInformation（お知らせや、スケジュール等）は簡単・手軽に更新する為に携帯を使用して更新できる事にする。

また更新の継続を促すために、一定の期間スケジュールが更新されていないとメールが送られてくる。本文にはリンクが貼ってありメールを見てすぐに更新することができる。

デザイン面では統一感を重視し、イメージカラーをもとに全体を同じ色調にしたテンプレートを数種類用意した。

5. 完成図



6. 結論

現状では実際に使えるシステム自体は制作できず、決定した仕様とwebサイトのサンプルを提示し感想を貰った。「実際にこのようなシステムがあれば更新を続けられそう」「このままサイトを使いたい」と言ってもらえたので、提案としては成功したといえる。

更にwebのシステムについて理解できればもう一歩踏み込んだ提案できると感じた。

7. 参考文献

『HTML&スタイルシート デザインブック』
エビスコム, ソシム, 2008